学校番号	325

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説　世界史」　（山川出版社）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　二訂版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の歴史の大きな枠組みと流れを学習して、歴史的な思考力を培うよう努力すること。さらに、世界の諸地域や各時代の文化の多様性と現代社会の特質をより広い視野から考察すること。そうして、２１世紀の国際社会の担い手としての自覚と資質の獲得を目指すこと。

２　学習の到達目標

世界の諸地域の政治・経済・社会・文化の特質や広がりや諸関係を、それらの歴史を通して、その形成過程から学ぶ。あわせて同時代の世界の地域間の交渉や交流をも視野に入れて、現代社会の特質を包括的に理解させる。各種の視聴覚教材、文献史料などを利用して理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界史に関する自称に興味・関心を持ち、自ら探求しようとする。	世界史に関する知識を用いて、考察・判断し、自分の考えを発言することができる。	世界史に関する様々な史料を収集するとともに、統計データから有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりすることができる。	基本的な事項、歴史的概念を理解することが出来る。
評価方法	授業の観察 課題やノートの提出 定期考査	授業の観察 課題やノートの提出 定期考査	授業の観察 課題やノートの提出 定期考査	授業の観察 課題やノートの提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	諸地域世界の形成と交流	オリエント世界の形成	○	○		○	a：各地域に興味をもち、近代的科学技術のない時代の生活や社会について学ぼうとする。 b：陸や海の交通路を把握して、地域が結ばれたり、戦争が起きたりする要因を世界史的な観点から考察する。 c：ユーラシアの東西の交通路などから読み取る。 d:農耕・牧畜など食料の生産を出発点として、人類のくらしと技術、政治と戦争、宗教と芸術の発展ないし拡大を理解する。	定期考査 課題やノートの提出
		地中海世界の形成	○					
		ローマと地中海世界の成長		○	○			
		ローマ帝国周辺の西アジアとアフリカ			○			
		南アジアの形成		○		○		
		東南アジア世界の形成		○	○			
		中華文明の形成	○			○		
		秦漢帝国と東アジア	○		○			
		中央ユーラシア世界の形成と展開		○	○			
		ユーラシアの変動と東アジア世界	○		○			
		東アジア諸地域の成長と自立	○			○		
		イスラーム世界の形成と拡大	○	○				
		ヨーロッパ世界の形成	○			○		
		ユーラシア大帝国の出現		○	○			
2学期	海洋による世界の一体化	明の国際秩序と東・東南アジア	○		○		a:14 世紀以降、海上貿易や大航海時代などを経て世界と国民国家の成立を考えようとする b：世界の一体化は、ヨーロッパ人が世界征服を試が一体化をより加速させたことと工業化との関連などを世界史的な観点から考察する。 c:経済的な分業関係から読み取る。 d:貿易ネットワークにより、アジアとヨーロッパの力関係が逆転し、現代の歴史につながることを理解する。	定期考査 課題やノートの提出
		世界帝国清とアジア諸国の成熟		○	○			
		イスラーム世界の成熟			○	○		
		大航海時代	○			○		
		ルネサンスと宗教改革	○			○		
		スペインの盛衰とオランダの派遣		○	○			
		ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋	○			○		
		三角貿易			○	○		
		産業革命		○		○		
		アメリカ独立戦争	○	○				
		フランス革命	○		○			
3学期	現代世界と日本	帝国主義とアジアの民族運動		○		○	a：世界史Ａの内容に立ち返り、世界史の流れと現代日本との連続性を整理する。 b：帝国主義とグローバル化のとの相違を歴史的観点から考察する c：政治体制、社会制度、文化・風俗の流れを表やグラフから捉える。 d:民族主義からグローバル化への流れを社会的観点から理解する	定期考査 課題やノートの提出
		二つの世界大戦	○	○				
		冷戦の時代	○		○			
		グローバル化する世界		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。